

会期 / 2012年10月16日（火）～18日（木）

会場 / 朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター [会場全体図はこちら（PDF/333KB）](#)

主催 / 食と花の世界フォーラム組織委員会、新潟市

特別協賛 / 株式会社ブルボン、亀田製菓株式会社、JAグループ新潟、新潟万代島総合企画株式会社

協賛 / 亀田郷土地改良区、（財）亀田郷地域センター、JA新潟市、JA新潟みらい、新潟日报社、新潟薬科大学、一正蒲鉾（株）、NSGカレッジリーグ、JA越後中央、亀田商工会議所、佐藤食品工業（株）、新潟県蒲鉾組合、（株）サンプラス三笠、（株）大光銀行、JA新津さつき、新津商工会議所、新潟観光コンベンション協会、新潟経済同友会、新潟市産業振興センター【指定管理者 新潟市開発公社・愛宕共同事業体】、新潟商工会議所、新潟水産物卸業協同組合、（株）藤井商店、（株）北越銀行、ホテル日航新潟、三菱商事（株）新潟支店、キリンビールマーケティング（株）、三幸製菓（株）、JA豊栄

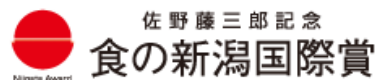
後援 / 国際連合食糧農業機関日本事務所、農林水産省、外務省、駐新潟大韓民国総領事館、在新潟ロシア連邦総領事館、中華人民共和国駐新潟総領事館、日本貿易振興機構（ジェトロ）新潟貿易情報センター、公益社団法人新潟県栄養士会、公益財団法人全日本司厨士協会関東総合地方本部新潟県本部、（社）新潟県商工会議所連合会、（社）新潟県調理師会、新潟市食品衛生協会、新潟市食品衛生指導員協議会、新潟市ホテル旅館業連絡協議会、新潟県花と緑の普及推進協議会、日本ユネスコ国内委員会

-佐野藤三郎記念-第2回食の新潟国際賞|国際賞受賞記念講演|

開催時期：平成24年10月16日（火）

会場：新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ 4F「国際会議場」

[開催概要はこちら](#)



第6回食の国際シンポジウム/フードフォーカス in にいがた2012

開催時期：平成24年10月16日（火）、17日（水）

会場：新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ 「国際会議場」ほか

[開催概要はこちら](#)



第2回花のにいがた商談会、他/フラワーメッセ in にいがた2012

開催時期：平成24年10月16日（火）～10月18日（木）

会場：新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ 2F

[開催概要はこちら](#)



第4回食の国際見本市/フードメッセ in にいがた2012

開催時期：平成24年10月16日（火）～10月18日（木）

会場：新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ 「展示ホール」

[開催概要はこちら](#)



食と花の世界フォーラムにいがた2012（平成24年度10月開催事業）開催概要

来場者数

開催事業	来場者数
第2回 食の新潟国際賞 10月15日（月）～16日（火）	232名
第6回 食の国際シンポジウム（フードフォーカスinにいがた） 10月16日（火）～17日（水）	931名
第4回 食の国際見本市（フードメッセinにいがた） 10月16日（火）～18日（木）	7,209名
第2回 花のにいがた商談会、他（フラワーメッセinにいがた） 10月16日（火）～18日（木）	1,064名
合計	9,436名

各事業開催概要

-佐野藤三郎記念-食の新潟国際賞 |国際賞受賞記念講演|



会 期：平成24年10月16日（火）佐野藤三郎記念

会 場：新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ 4F「国際会議場」ほか

来場者数：232名

[当日パンフレット資料はこちら（PDF/569KB）](#) [会場写真はこちら](#)

食の新潟国際賞の理念

世界を救う食のイノベーターに光をあて、グローバルな食の問題に貢献します。
世界は食糧需給の不均衡や量的、質的不足など、食に関する課題が多く存在します。
人口増加、異常気象、農地荒廃、水不足、大災害、戦争などの困難な現実に向き合い、食の分野で世界の人々に大きく貢献した業績を顕彰することで、飢餓・貧困をなくし、生命の尊厳を守り、健康で豊かな生活を送ることのできる環境を実現させたいと願っています。



会 期：平成24年10月16日（火）、17日（水）

会 場：新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ in 「国際会議場」 ほか

テ ー マ：「食の新潟から 新しい豊かさを求めて」

来場者数：931名

フードフォーカス in にいがた 2012

[当日パンフレット資料はこちら（PDF/272KB）](#)

[会場写真はこちら](#)

構 成

エネルギー資源や水資源などの有限性の問題、世界人口の爆発的な増加、地球温暖化への対応や生物多様性の維持など、人類生存の根幹に関わる問題がクローズアップされています。

資源を消費し、拡大していくことを前提としたこれまでの経済システムは大転換期を迎え、持続可能な経済、社会、環境の在り方が世界的な課題となっています。

フードフォーカス in にいがた 2012では、この経済社会の激変期に対応し、豊かさを持続できる地域社会を可能にする食の在り方、食産業の方向を考えます。

コンパスセッション

主に食関連事業の経営者層を対象に、世界的な視野に基づく重要な情報を提供し、食の課題とこれからの食産業の方向について議論、提案を行います。新潟の食の関係者が産官学民一体となって取り組む方向を具体化することで、食と花の世界フォーラムを推進します。

[コンパスセッション当日内容（PDF/610KB）](#)

アカデミックセッション

新潟の豊かな食資源を背景に国内外から研究者が参集し、「食と健康」に関する最新研究情報の発表、交換を行います。新潟で食品機能研究の一層の発展と国際的な科学・文化交流の拠点化を進めていきます。将来的には地元の大学や企業の研究所、公共研究機関のすべてが主体となる学術シンポジウムを目指します。

[アカデミックセッション当日内容（PDF/345KB）](#)

ガイダンスセッション

主に食品産業の経営者層を対象に、コンパスセッションとアカデミックセッションの具体的内容や解説、コンパスセッションで提案された地域モデルへの入口を示します。

[ガイダンスセッション当日内容（PDF/535KB）](#)

主 催／食と花の世界フォーラム組織委員会

企 画／公益財団法人 食の新潟国際賞

シンポジウム企画全体に対するアドバイザリボード／地域連携フードサイエンスセンター、新潟食品バイオ研究開発推進機構
実行組織／食と花の世界フォーラム組織委員会、アドバイザリボード



会 期： 平成24年10月16日（火）～10月18日（木）

会 場： 新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ 2F

メインテーマ：『新潟（まち）を花で飾ろう。』

来場者数： 1,064名

[当日パンフレット資料はこちら（PDF/199KB）](#) [会場写真はこちら](#)

フラワーメッセ in にいがた 2012 紹介

『新潟（まち）を花で飾ろう。』をテーマに開催する花の展示会です。品評会、即売会、商談会のほか、体験などを通して花に親しむことができます。新たな花文化の提案をテーマに、新潟の花の新しい魅力を伝えます。

第2回 花のにいがた商談会

17日：10:30～15:00 18日：10:00～16:00 場所：スノーホールA

花のあるくらしの提案（インテリア×ガーデニング×カフェ）

16日～18日：10:00～17:00 場所：アトリウム

にいがたブランドPR

16日～18日：10:00～17:00 場所：エスプラナード

創作園芸（体験）コーナー

16日～18日：10:00～ 11:30～ 13:30～ 場所：エスプラナード

第34回 新潟県切花共進会（コンテスト）

17日：10:30～15:00 18日：10:00～16:00 場所：スノーホールB

第2回 花のにいがた即売会

16日：10:00～17:00 17日：10:00～15:00 18日：10:00～16:00
場所：エスプラナード

第3回 花き産業関係者交流会

17日 15:30～17:30 場所：中会議室201

フラワーメッセ in にいがた 2012 来場者数

会 場	事業名	来場者	期 間	備 考
スノーホールA	第2回花のにいがた商談会	427名	17日・18日	うちバイヤー273名
スノーホールB	第34回新潟県切花共進会	400名	17日・18日	
201会議室	第3回花き産業関係者交流会	135名	17日・18日	
エスプラナード	創作園芸コーナー	92名	16日～18日	3日間
	合 計	1,064名		
エスプラナード	新潟ブランドPR 花のあるくらしの提案	7,029名	16日～18日	3日間フードメッセ参加者数
アトリウム	第2回花のにいがた即売会			

第4回食の国際見本市/フードメッセ in にいがた 2012



- 開催時期： 平成24年10月16日(火)～10月18日(木)
10月16日・17日はビジネスデイ 18日はビジネスデイ/一般公開デイ
会場： 新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ「展示ホール」
入場料(18日のみ)：お一人様600円(税込) ※招待券持参は無料
メインテーマ： 「より良い食を求めて…」
来場者数： 7,209名

[当日パンフレット資料はこちら \(PDF/260KB\)](#) [会場写真はこちら](#)

フードメッセ in にいがた 2012 紹介

本州日本海側最大の食の総合見本市

大規模な見本市では見られない、地域独自の優れた「食に関するもの」が大集合。

まだまだ知られていない食に関するモノとの出会いが、この場所に溢れています。

今までの食との差別化を実現する魅力的な食材、食品、調理機器、容器などが、フードメッセ in にいがたに集結します。

フードメッセ in にいがた 2012 来場者数

開催日	天気	2012 来場者数	2011 来場者数	2011/2012 伸張率
10月16日	晴れ	2,027名	1,689名	120%
10月17日	晴れ/雨	2,408名	1,976名	122%
10月18日	雨/曇り	2,774名	2,276名	122%
合計		7,209名	5,941名	121%

主催/食と花の世界フォーラム組織委員会・新潟市

共 管/株式会社新宣・株式会社第一印刷所・株式会社日本食糧新聞社 共同企業体

協 力/株式会社北越銀行、株式会社大光銀行、株式会社日本政策金融公庫、新潟県商工会連合会

特別協賛/株式会社ブルボン、亀田製菓株式会社、JAグループ新潟、新潟万代島総合企画株式会社

食と花の世界フォーラムにいがた2012（平成24年度10月開催事業）開催概要

食の新潟国際賞 会場写真



[食の新潟国際賞 開催概要にもどる](#) [食と花の世界フォーラム2012開催報告にもどる](#)

フードフォーカス in にいがた2012 会場写真



フラワーメッセ in にいがた 2012 会場写真



[フラワーメッセ in にいがた 2012 開催概要にもどる](#) [食と花の世界フォーラム 2012 開催報告にもどる](#)

フードメッセ in にいがた 2012 会場写真



食と花の世界フォーラム にいがた 2012

会場全体図

Food Focus in NIIGATA
 フードフォーカス in にいがた 2012

10月16日(火)~17日(水)

- ①コンパスセッション(16日午後)
- ②ガイダンスセッション(17日)
- ③アカデミックセッション(16日・17日)

FLOWER MESSE
 in NIIGATA 2012
 フラワーメッセ in にいがた

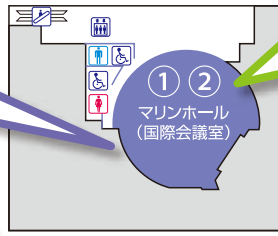
10月16日(火)~18日(木)

- ①第2回花のにいがた商談会(17日・18日)
- ②第34回新潟県切花共進会(17日・18日)
- ③第2回花のにいがた即売会・にいがたブランドPR・創作園芸(体験)コーナー(16日~18日)
- ④花のあるくらしの提案(16日~18日)
- ⑤第3回花き産業関係者交流会(17日)

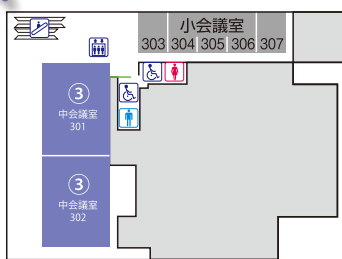
佐野藤三郎記念
食の新潟国際賞
 Niigata Award

10月15日(月)~16日(火)

15日:表彰式等 ※ホテル日航新潟
 16日午前:受賞記念講演



◀ 4F



◀ 3F



FOOD MESSE
 in NIIGATA 2012
 フードメッセ in にいがた
10月16日(火)~18日(木)

↑ 2F
 ↓ 1F



佐野藤三郎記念 食の新潟国際賞



国際賞受賞記念講演 ※事前申し込みの方が優先になります

平成24年10月16日(火) 10:00~11:40 入場無料
新潟コンベンションセンター 朱鷺メッセ 4F 「国際会議場」

食の新潟国際賞の理念

世界を救う食のイノベーターに光をあて、
グローバルな食の問題に貢献します。

世界には食糧需給の極度の不均衡や量的、質的不安など、食に関する課題が多く存在します。人口増加、異常気象、農地荒廃、水不足、大災害、戦争などの困難な現実に向き合い、食の分野で世界の人々に大きく貢献した業績を顕彰することで、飢餓・貧困をなくし、生命の尊厳を守り、健康で豊かな生活をおくることのできる環境を実現させたいと願っています。

受賞者



本賞

ジョゼット・シーラン氏 (米国) (前)国連世界食糧計画(WFP) 事務局長

国連世界食糧計画(WFP)のエグゼクティブ・ディレクターとして在任中、卓越したリーダーシップを発揮し、精力的に歴史的な食糧危機対応し、世界の飢餓撲滅のために行動した。特にシーラン氏が在職中のWFPへの寄付は50億ドルに増加し、私的寄付も7百万ドルから1億5千万ドルに増加し、75ヶ国・10億5千万人に対し食糧援助を行うとともに、人道的食糧支援の必要性を世界に認知させた功績は大きい。氏の精力的な活動は多岐にわたり、国連高等経営委員会委員長、国連開発グループメンバー、世界食糧危機に対する国連高等タスクフォース所属などの要職につき、国際的事業に貢献する活動をしている。2012年4月、世界経済フォーラム副会長に就任した。1954年6月12日米国生まれ。



佐野藤三郎特別賞

梅林正直氏 (日本) 三重大学 名誉教授

ケシ栽培で名高いタイ北部山岳地帯「黄金の三角地帯」において、個人で果樹植樹ボランティア活動を行い、献身的に農業国際協力に取り組み、この地域住民の自立するための支援を行い、ケシ栽培からの脱却の推進と持続的な農業による地域モデルの構築を行った。また世界的には麻薬の生産を減らしたとして注目される。また、この活動は梅林氏の「自分の頭と身体とお金を使って汗を流すのが、本当のボランティアの原点」という信念に基づき、氏の私費で独自に行われている。1933年8月11日東京生まれ。



21世紀希望賞

ンネメカ・C・イケグボヌ氏 (ナイジェリア) スモールホルダーズ財団 事務局長

小規模農民のための地域FM放送局を開局し、ラジオを通じてナイジェリアの25万人の農民向けに環境保護や持続可能な農業、マーケット情報などを提供するとともに「スモールホルダーズ財団」を設立し小規模農民の製品の生産性と生活向上と貧困者の減少にも寄与した。ラジオ局は毎日すべての主要な市場の商品価格情報を提供し、また基礎的なビジネス手法(コスト分析・銀行口座の開き方・帳簿のつけ方など)も教える。1982年5月29日ナイジェリア生まれ。



Food Focus in NIIGATA
 フードフォーカス in にいがた 2012

会期 | 平成24年10月16日(火)、17日(水)

会場 | 新潟コンベンションセンター 朱鷺メッセ「国際会議場」ほか

テーマ | 『食の新潟から 新しい豊かさを求めて』

構成 | エネルギー資源や水資源などの有限性の問題、世界人口の爆発的な増加、地球温暖化への対応や生物多様性の維持など、人類生存の根幹に関わる問題がクローズアップされています。

資源を消費し、拡大していくことを前提としたこれまでの経済社会システムは大転換期を迎え、持続可能な経済、社会、環境の在り方が世界的な課題となっています。

フードフォーカス in にいがた2012では、この経済社会の激変期に対応し、豊かさを持続できる地域社会を可能にする食の在り方、食産業の方向を考えます。



コンパスセッション

主に食関連産業の経営者層を対象に、世界的な視野に基づく重要な情報を提供し、食の課題とこれからの食産業の方向について議論、提案を行います。

新潟の食の関係者が産官学民一体となって取り組む方向を具体化することで、食と花の世界フォーラムを推進します。



アカデミックセッション

新潟の豊かな食資源を背景に国内外から研究者が参集し、「食と健康」に関する最新研究情報の発表、交換を行います。新潟で食品機能研究の一層の発展と国際的な科学・文化交流の拠点化を進めていきます。将来的には地元の大学や企業の研究所、公共研究機関のすべてが主体となる学術シンポジウムを目指します。



ガイダンスセッション

主に食品産業の経営者層を対象に、コンパスセッションとアカデミックセッションの具体的な内容や解説、コンパスセッションで提案された地域モデルへの入口を示します。



主催/食と花の世界フォーラム組織委員会

企画/公益財団法人 食の新潟国際賞財団

シンポジウム企画全体に対するアドバイザーボード/地域連携フードサイエンスセンター、新潟食品バイオ研究開発推進機構
 実行組織/食と花の世界フォーラム組織委員会、アドバイザーボード

※事前申し込みの方が優先になります



「食による持続可能な社会とは」

企画運営：食の新潟国際賞財団

12:40~14:45

第1部

食文化創造都市国際シンポジウム

「ガストロノミーによる持続可能な創造的まちづくり」

パネルディスカッション

コーディネーター



大阪市立大学大学院
創造都市研究科教授
佐々木 雅幸氏

経済博士。金沢大学経済学部教授、立命館大学政策科学部教授を経て、2003年から現職。大阪市立大学都市研究プラザ所長を兼任。著書に『創造都市への挑戦』（岩波現代文庫）など。

パネリスト



ポバヤン・ガストロノミー財団理事
アルバロ・ガルバン・ロベス氏
コロンビア文部省国際関係局長、米州開発銀行のシニアコンサルタントなどを歴任。最新著書は「Towards a Creative Economy, Guide for Directors of Cultural Industries」(2011 UNESCO プレノスアイレス 共著)。2009年、コロンビア文化省文化功労賞を受賞。

パネリスト



全州ガストロノミー創造都市
市民ネットワーク実行委員
イ・ヨンウン氏

円光大学校食品栄養学科教授。円光食品産業研究所所長、韓国フードフェスティバル実行委員、全北食品文化協会会長などを務め、幅広く韓国の食文化に関する研究、普及に尽力。

パネリスト



鶴岡市企画部政策推進課長
高橋 健彦氏

2011年には、食文化創造都市プロジェクトでユネスコ本部のある仏国・パリや、ユネスコ創造都市ネットワーク会議のため韓国・ソウルを訪問。鶴岡の魅力あふれる食文化の再発掘や新たな創造のため、各種プロジェクトの展開に奔走中。

パネリスト



食と花の世界フォーラム実行委員長
与田 一憲氏

公益財団法人食の新潟国際賞財団常務理事。元新潟三菱自動車株式会社取締役。新潟商工会議所の政令都市推進特別委員長やまちづくり戦略会議議長を務めるなど、新潟市が目指す都市像の策定に深く携わる。

15:00~17:30

第2部

食の新潟：不死鳥社会への全面展開を語る

イントロダクション：『なぜいま、「不死鳥社会」なのか』

コーディネーター



科学ジャーナリスト
日本科学技術ジャーナリスト会議
(JASTJ)理事
小出 五郎氏

1964年	東京大学農学部卒業 放射線生態学専攻 NHKに入局。以後、科学番組ディレクターとして、環境、エネルギー、核、医学、情報などをテーマとする番組を企画、制作
1984年	NHK特集「核戦争後の地球」で芸術祭大賞、日本ジャーナリスト会議賞大賞、イタリア賞大賞など受賞
1985年	アメリカとの国際共同制作番組「ブレイン-知られざる脳の世界」キャスター
1989年	NHKスペシャル「驚異の小宇宙・人体」ディレクター兼キャスター。日本賞など受賞
1989-2006年	NHK解説委員(科学技術全般を担当)
2002-2006年	大妻女子大学教授(生命思想史、情報科学、社会リスク対応論、環境文明論、未来生活論ほか)
2002-2004年	科学ジャーナリスト塾塾長
2005年	日本科学技術ジャーナリスト会議会長
その他、多数のシンポジウム、科学カフェなどのコーディネーターを手掛ける。	

●活動発表1

湿地再生の取り組みと無農薬・無肥料による米作り

新潟大学副学長 農学部教授 紙谷 智彦氏
新潟市内農家 宮尾 浩史氏

●活動発表2

食を通した持続可能な地域づくりの取り組み

新潟医療福祉大学 大学院研究科長 村山 伸子氏

●活動発表3

食品加工と地域の絆

株式会社ブルボン 代表取締役社長 吉田 康氏

パネルディスカッション

パネリスト



株式会社ブルボン 代表取締役社長
吉田 康氏

株式会社ブルボン 代表取締役社長
一般社団法人健康ビジネス協議会 代表理事 会長
公益財団法人食の新潟国際賞財団 理事

パネリスト



新潟大学副学長 農学部教授
紙谷 智彦氏

1952年富山県生まれ。
新潟大学副学長、大学院自然科学研究科教授。新潟大学大学院農学研究科修士課程修了・農学博士(東京大学)。
森林・河川・水田などの生態的管理のための基礎的・応用的研究が専門。新潟市緑化審議会会長、新潟県環境審議会副会長、新潟県森林審議会委員。

パネリスト



新潟市内農家
宮尾 浩史氏

1964年 新潟市北区(旧豊栄市)生まれ。
宮尾農園代表。加島屋製造部に勤務後、1994年に就農。有機稲作に取り組み、稲作の副産物や地域資源を活かした有畜複合の自然農業を実践する。先達が築いてきた技・文化・思想を継承し、次世代につなげる活動を展開。「地域資源と農業を考える会」などを立ち上げる。

パネリスト



新潟医療福祉大学大学院研究科長
村山 伸子氏

新潟医療福祉大学大学院：医療福祉学研究科長、健康科学部健康栄養学科教授。東京大学大学院農学系研究科博士課程修了、博士(保健学)。女子栄養大学助手、東北大学大学院専任講師、コーネル大学人類生態学部客員研究員などを経て現職。専門は公衆栄養学、ヘルスプロモーション、国際栄養学。

パネリスト



新潟市長
篠田 昭氏
食と花世界フォーラム
組織委員会会長



食品及び食品機能分子の基礎から臨床応用

企業向けセッション

朱鷺メッセ3F 中会議室 302

会費制

※事前申し込みが必要です

10/16火
9:00~

○ 日本語セッション

日本の食品産業における食品研究および開発の現状

高圧処理を利用した食品の機能性富化

重松 亨氏 新潟薬科大学応用生命科学部

不易流行のバイオテクノロジー ~オールドバイオテクノロジーを新しい切り口で~

金内 誠氏 宮城大学食産業学部

臨床研究と基礎研究 —新潟から世界へ—

渡辺 賢一氏 新潟薬科大学薬学部

食品に含まれるプロアントシアニン類 —起源、化学構造、および健康作用—

平山 匡男氏 株式会社ブルボン 健康科学研究所

ホルモン感受性リパーゼ (HSL) 活性化によるケルセチン配糖体の体脂肪低減効果

北川 義徳氏 サントリーウエルネス株式会社 健康科学研究所

Bio-Activating Advanced Nutrients (BAANs) を用いた新しい生活習慣病の治療および予防方法の確立

佐藤 晋氏 北陸先端科学技術大学院大学、株式会社ワイ'ス

海藻由来成分メカブフコイダンの免疫機能に及ぼす効果

吉永 恵子氏 理研ビタミン株式会社

ニュートリゲノミクス研究の今：最近のケーススタディより

中井 雄治氏 東京大学大学院農学生命科学研究科

10/17水
9:00~

○ 英語セッション

世界各地における機能性食品開発の現状

果物に含まれるポリフェノールによる抗酸化・抗炎症作用を利用した機能性食品開発の可能性

ロジャー・ハースト氏 (ニュージーランド、オークランド市)
The New Zealand Institute for Plant & Food Research Ltd.

食品加工が果物の栄養価に及ぼす影響：ポリフェノールとその抗酸化活性

エミラ・メヒナジック氏 (フランス、ナント市およびアンジェ市)
Groupe Ecole Supérieure d'Agriculture d'Angers

健康および最適な食品に関する技術革新

クリスティアン・カーク氏 (オランダ、ワーヘニンゲン市)
Food Valley and Wageningen University and Research Centre

食品の放射線量：福島第一原子力発電所における事故前後の状況

田上 恵子氏 (日本、千葉市) 放射線医学総合研究所

10/16火
13:30~17:00

【公開講座】健康で長生きしましょう

入場無料

—自分のために、家族のために、そして子・孫のために—

※事前申し込みの方が優先になります

朱鷺メッセ3F 中会議室 301

オーガナイザー

渡辺 賢一 新潟薬科大学薬学部 教授

食と病気の予防 —日本におけるその研究の流れと新たな息吹き

荒井 綜一氏 東京農業大学 客員教授

肥満と癌の進行

Jung Han Yoon Park 氏 韓国ガン予防学会 会長、翰林大学自然科学部 教授

日常の食と健康 —食は要。食育、疾病予防そして治療、リハビリへと—

須永 隆夫氏 新潟医療生活協同組合木戸クリニック 所長
農林水産大臣認可登録認証機関 NPO 法人赤とんぼ (有機農産物などの認証) 判定委員

開業医から見た子どもの食と生活習慣

佐藤 勇氏 よいこの小児科さとう 院長

食事と生活習慣病 —あなたの未来は変えられる!—

八幡 和明氏 長岡中央総合病院 副院長・糖尿病センター長

総合討論・質疑応答



「食の未来へ誘う」

企画運営：地域連携フードサイエンスセンター、食の新潟国際賞財団

9:30~10:45

1. 新たなビジネススタンダードを求めて



三菱食品株式会社
代表取締役会長
中野 勘治氏

1939年7月7日生まれ
1962年4月 日本冷蔵(株) 入社
1989年6月 (株)ニチレイ 取締役
2001年6月 同社 専務取締役退任
2001年6月 (株)ユキワ 代表取締役社長
2003年10月 (株)アールワイフードサービス 代表取締役社長
2006年10月 (株)菱食 代表取締役(兼)副社長執行役員・営業管理役員
2008年3月 (株)菱食 代表取締役社長・経営全般
2011年7月 三菱食品(株) 代表取締役会長(現任)

※2011年7月 株式会社菱食から三菱食品株式会社に社名変更

11:00~12:00

2. アカデミックセッション概要解説



新潟薬科大学 特任教授
小西 徹也氏

1968年東京薬科大学薬品物理化学講座助手、米国カリフォルニア大学バークレー校解剖生理学部に博士研究員を経て、1978年に新潟薬科大学助教授に就任。1993年カリフォルニア大学バークレー分子細胞生物学部客員教授、1996年新潟薬科大学大学院教授に就任。2003年に新設された応用生命科学部教授就任、2012年より同大学特任教授に就任。Molecular Nutrition and Food 誌編集委員ほか種々の専門誌reviewer、国内外の博士論文審査員、学会評議員など務める。

13:00~14:00

3. 医学と栄養学の視点から健康と食の機能を考える



新潟大学大学院医歯学総合研究科
機能分子医学講座 特任教授
斎藤 亮彦氏

糖尿病・腎臓病の専門医として臨床・教育に従事するかわら、それらの基礎研究やトランスレショナルリサーチを行っている。県内企業との産学協同研究も進め、新潟「食と健康」フォーラム(市民公開講座)の実行委員長を務めている。



新潟県立大学
人間生活学部 健康栄養学科 教授
渡邊 令子氏

専門分野：栄養科学(学術博士)
県立新潟女子短期大学教授を経て、2009年の新潟県立大学開学時より現職。管理栄養士・栄養士養成に携わる。日本人の食の原点である米、特にそのタンパク質の生理機能、高齢者の食と健康の関連などについて研究を展開。

14:10~15:00

4. アメリカにおける日本食品の位置と食品マーケティングについて (タイ食品輸出戦略に学ぶ)



特定非営利法人危機管理対策機構理事
ナターン リー ローデン氏

1959年5月6日札幌で生まれる(アメリカ国籍)
1973~1977年 Okinawa Christian school (沖縄県)自然科学専攻
1977~1979年 Olivet Nazarene College (米国・イリノイ州・カンカキ市)生物学化学専攻
1981年伊藤忠商事サンフランシスコ支店入社、新規事業開発チームに携わり、シリコンバレー担当に選任。
その後、OHM音響株式会社(ニューヨーク)入社。工場の品質管理・プロセス管理・企業プロセス・エンジニアリングを指揮。
1996年~現在は航空宇宙産業関係の営業・商品開発・プロジェクトを行っている。
NPO法人危機管理対策機構の理事及びNPO法人事業継続推進機構の理事、一般財団法人DRIジャパンの理事。

15:10~17:00

5. 変革の時代における新たな産業提案 産学官連携による食品産業の未来を考える



新潟大学フードサイエンスセンター 農学部教授
門脇 基二氏

新潟大学大学院自然科学研究科(農学部)教授。農学博士。東京大学農学部を卒業後、大学院を経て同農学部助手。米国ペンシルバニア州立大学医学部研究員。その後、新潟大学農学部助教授を経て現在に至る。専門は栄養生化学。新潟大学地域連携フードサイエンスセンターを組織し、新潟地域食品産業との産学官連携活動を推進する。本新潟市食と花の世界フォーラムには初回から参加。



新潟市ニューフードバレー推進室長
鈴木 浩行氏

1986年 新潟市役所入庁
2010年 文化観光・スポーツ部観光政策課国際・広域観光室長
2012年 経済・国際部産業政策課
ニューフードバレー推進室長



FLOWER MESSE

in NIIGATA 2012
フラワーメッセ in にいがた

『新潟を花で飾ろう。』をテーマに開催する花の展示会です。
品評会、即売会、商談会のほか、体験などを通して花に親しむことができます。
新たな花文化の提案をテーマに、新潟の花の新しい魅力を伝えます。

会期 | 平成24年10月16日(火)～10月18日(木)

会場 | 新潟コンベンションセンター 朱鷺メッセ 2F

メインテーマ | 『新潟を花で飾ろう。』

主催 / 食と花の世界フォーラム組織委員会・新潟市
共催 / 新潟県花と緑の普及推進協議会・「春一番、にいがた花三昧。」連絡会議・新潟県切花振興協議会

開催内容

第2回 花のにいがた商談会

17日 10:30～15:00 18日 10:00～16:00 場所 ●スノーホールA

花のあるくらしの提案(インテリア×ガーデニング×カフェ)

16日～18日 10:00～17:00 場所 ●アトリウム

にいがたブランドPR

16日～18日 10:00～17:00 場所 ●エスプラナード

創作園芸(体験)コーナー

16日～18日 ①10:00～ ②11:30～ ③13:30～ 場所 ●エスプラナード

第34回 新潟県切花共進会(コンテスト)

17日 10:30～15:00 18日 10:00～16:00 場所 ●スノーホールB

第2回 花のにいがた即売会

16日 10:00～17:00 17日 10:00～15:00 18日 10:00～16:00 場所 ●エスプラナード

第3回 花き産業関係者交流会(有料)

17日 15:30～17:30 場所 ●中会議室201

FOOD MESSSE

in NIIGATA 2012

フードメッセ in にいがた

第4回 **食**の国際見本市 in 新潟

本州日本海側最大の
食の総合見本市



大規模な見本市では見られない、地域独自の優れた「食に関するもの」が大集合。まだまだ知られていない食に関するモノとの出会いが、この場所に溢れています。今までの食との差別化を実現する魅力的な食材、食品、調理機器、容器などが、フードメッセ in にいがたに集結します。

会期 | 平成24年 **10月16日(火)～10月18日(木)**
10月16日・17日はビジネスデイ 18日はビジネスデイ／一般公開デイ
10:00～17:00(18日は16:00閉場)

会場 | 新潟コンベンションセンター
朱鷺メッセ「展示ホール」

入場料 | **お一人様 600円**(税込) ※招待状持参者は無料。

メインテーマ | 『より良い食を求めて…。』

主催／食と花の世界フォーラム組織委員会・新潟市

主管／株式会社新宣・株式会社第一印刷所・株式会社日本食糧新聞社 共同企業体

協力／株式会社北越銀行、株式会社大光銀行、株式会社日本政策金融公庫、新潟県商工会連合会

特別協賛／株式会社ブルボン、亀田製菓株式会社、JAグループ新潟、新潟万代島総合企画株式会社

